



増える“急病”出動



市民から要請があれば、いつでも出動できるように待機している救急隊は、現在、消防本署と富士分署に配置されている2台の救急車によって、救急活動を行なっています。

富士市が救急活動をはじめたのは41年からで、当時に比べ出動回数も3倍以上に増加しています。ちなみに42年からの出動回数を見てみると42年735回、43年969回、44年1335回、45年1629回、46年1661回、47年1818回、昨年は2065回とついに2000回を突破しました。

このように救急車の出動回数が増えたのは、自動車の増加や人口の増加などがあげられます。特に、ここ2～3年は、急病人の搬送が多くなっ

てきました。こうした傾向は全国の人口集中都市にみられ頭の痛い問題となっていますというのは、急病人の約半数が軽症者で、中には夜間、病院がなかなかみつからないとか、自動車がなくてタクシー代わりに利用する人が増えているためです。

救急隊の話では、急病で重態だからすぐ来てくれと要請があったので急行してみると、本人が歩いて家の中からてきたり、ひどい時は外で待っていることもあるそうです。また、この病院はいやだから、〇〇病院へつれていってくれなどと言われることもあり、ほん



【要請があればいつでも出動】

とに困っています。

みなさん、救急車は一刻をあらそう病人やケガ人を運ぶのが使命ですから、出動要請をする時には十分注意してください。

月別救急出動状況

(46年～48年)

() 内は急病による出動回数

年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
46	128 (34)	122 (44)	156 (64)	147 (56)	132 (59)	142 (57)	141 (51)	145 (62)	140 (43)	150 (62)	120 (47)	138 (41)	1661 (620)
47	138 (56)	114 (46)	160 (64)	152 (54)	132 (45)	126 (47)	140 (52)	201 (89)	148 (60)	178 (62)	154 (60)	175 (63)	1818 (698)
48	182 (63)	146 (62)	168 (71)	175 (64)	163 (64)	177 (71)	169 (62)	174 (82)	153 (66)	187 (78)	184 (66)	187 (66)	2065 (815)

当直医院

休日当直医院は、富士市医師会が急病患者のために定めたものです。ところが、最近、かかりつけの医院がやすみなでみてくださいますと、当直医院に来る人が多くなりました。特に医療センターに多く、急病患者の診察に支障をきたしていますので、当直医院は急病のときにだけご利用ください。

■10月6日

外科 川村医院(富士中島 61-4050)
米山病院(吉原4 52-3060)
産婦人科 遠藤医院(吉原3 52-1941)

■10月10日

外科 藤井医院(松岡 61-7811)
芦川病院(中央町2 52-2480)
産婦人科 北西医院(本市場61-0119)

■10月13日

外科 戸田医院(横割1 63-5213)
渡辺病院(錦町1 51-3751)
産婦人科 吉見医院(吉原4 52-2399)

■10月20日

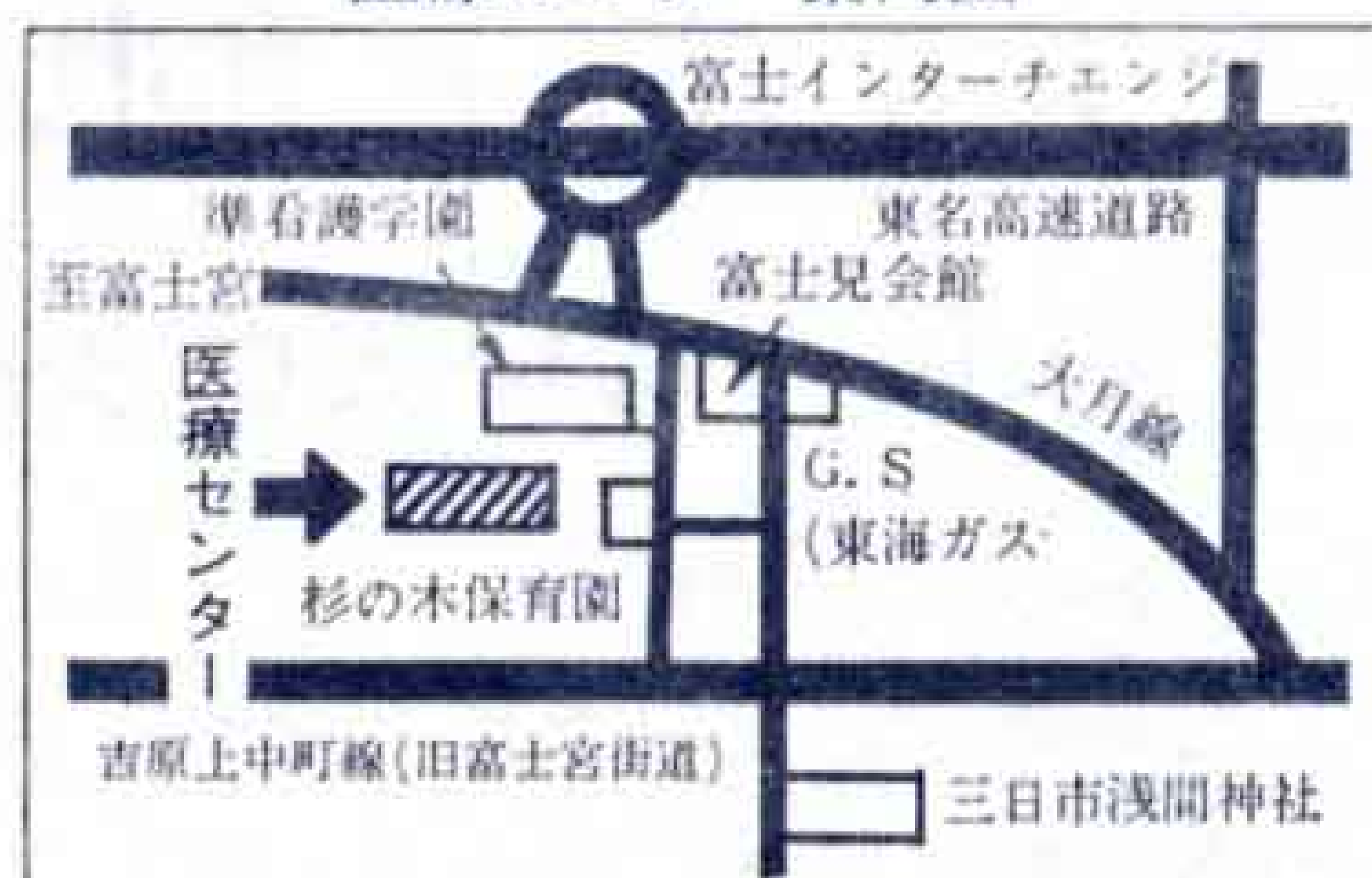
外科 中央病院(本市場 61-8800)
米山医院(今泉1 52-0275)
産婦人科 中央病院(本市場61-8800)

■10月27日

外科 神谷医院(川成島 61-5900)
吉原病院(南町 52-0780)
産婦人科 山下医院(西国窪52-0611)

※内科、小児科は富士医師会が「医療センター」で行っています。診療時間は午前9時から午後5時までです。

医療センター案内図



医療センターの住所は「富士市伝法字杉ノ木2850-2(長者町)」電話は52-3104です。